

第四十二回句会 俳句

【高点句】

☆ぎごちなくパンプス腕に春コート 〈安津子〉

☆春めいて朝の歩幅の広くなり 〈青蛙〉

☆ゆつたりの気圧配置や春コート 〈眞澄〉

【各自一句】

・ボタンだけ新しきかな春の服 〈莫院〉

・晴れ上り芽立ちの音の聞こゆこと 〈眞澄〉

・春コート羨む祖母にそっと着せ 〈青蛙〉

・電車待つ風にゆられて春コート 〈撫子〉

・酌み交す秩父の茶屋の雪解風 〈一馬〉

・春愁髪濡れしまま夜半まで 〈安津子〉

・足跡に足跡重ね春の泥 〈明美〉

・春コート光を連れて男行く 〈千恵〉

・滑走路春の万感乗せ加速 〈茂〉

・日差しきて小脇であそぶ春コート 〈童心〉

*以上、27句（3句ずつ9名）より、選句は11名により4句ずつ

*高点句は、高得点の句より3句（今回は第1位が同点で2句）

*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による（得点順ではなく、俳句一覧表に

偶然記載された順に掲載）＋今回は掲載句として1句追加